

八峰町消防団 表彰者紹介

毎年1月5日に行われている八峰町消防出初式は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。このため表彰式は行われませんでした。消防団員として功績のあった方々を以下のとおり紹介します。

表彰を受けられた方々（敬称略）

●秋田県知事表彰

【有功章】

第3分団 分 団 長 木 藤 精 輝 第7分団 分 団 長 白 鳥 和 美 第9分団 副分団長 鈴 木 徹

【永年勤続章（35年以上）】

本部分団 分 団 長 金 谷 弘 美

【永年勤続章（30年以上）】

本部分団 副分団長 日 沼 克 文 第8分団 分 団 長 後 藤 誠 第10分団 班 長 小 林 雅 丈
第14分団 分 団 長 畠 山 昭 治

【永年勤続章（25年以上）】

第1分団 副分団長 金 谷 知 明 第9分団 団 員 金 田 仁

【永年勤続章（20年以上）】

第4分団 団 員 田 村 清 第8分団 班 長 藤 田 好 美 第9分団 団 員 菊 地 研 吾
第12分団 班 長 大 山 猛 第13分団 班 長 山 内 賢 二 第15分団 班 長 小 川 広 法
第15分団 団 員 須 藤 清 彦

●秋田県消防協会長表彰

【勤続章（10年勤続）】

第4分団 団 員 芹 田 秀 樹	第5分団 団 員 福 田 稔	第5分団 団 員 川 尻 和 昌
第5分団 団 員 伊 勢 隼 人	第6分団 団 員 今 井 智 裕	第9分団 団 員 小 林 尚 平
第9分団 団 員 笠 原 大 輔	第12分団 団 員 鎌 田 陽 平	第12分団 団 員 大 高 文 恵
第12分団 団 員 斎 藤 一 心	第13分団 団 員 日 沼 圭 佑	第13分団 団 員 菊 地 歩 美
第13分団 団 員 佐 々 木 書 知	第15分団 団 員 永 野 翔 悟	第15分団 団 員 須 藤 広 洋
第15分団 団 員 金 谷 洋 平	第15分団 団 員 岩 城 一 馬	第15分団 団 員 須 藤 翔 也

●秋田県消防協会能代市山本郡支部長表彰

【勤続章（7年以上）】

第7分団 団 員 藤 嶋 恒 一 第8分団 団 員 後 藤 睦 美 第9分団 団 員 本 庄 蓮
第13分団 団 員 工 藤 優 第13分団 団 員 高 橋 健 太 第15分団 団 員 岩 城 歩 美

●八峰町長表彰

【5年精勤章】

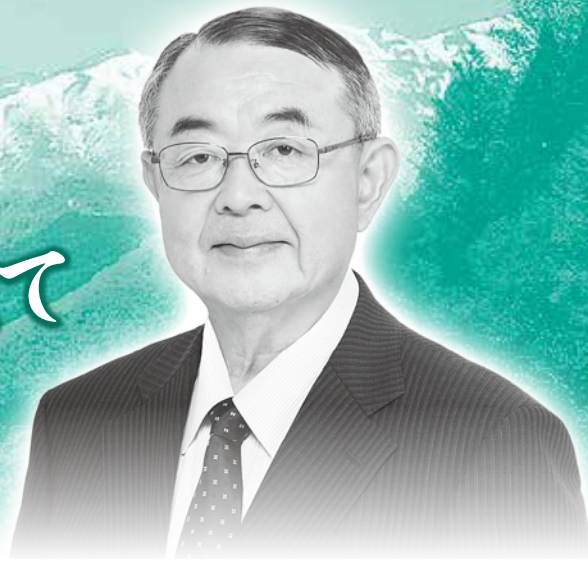
第3分団 団 員 板 倉 豊	第3分団 団 員 堀 内 樹	第6分団 団 員 今 井 純 一
第8分団 団 員 伊 藤 博	第9分団 団 員 齊 藤 寛 行	第12分団 団 員 奈 良 聡 子
第14分団 団 員 土 屋 祥 吾	第14分団 団 員 門 脇 謙 太	第14分団 団 員 庄 内 弥 志
第15分団 団 員 岡 本 大 介	第15分団 団 員 川 村 太 志	

【3年精勤章】

本部分団 団 員 芳 平 磨 委	本部分団 団 員 川 村 忠 寛	第1分団 団 員 笹 本 郁 生
第5分団 団 員 伊 勢 康 介	第9分団 団 員 石 崎 和 志	第10分団 団 員 大 黒 一 夫
第11分団 団 員 奈 良 幸 紀	第15分団 団 員 岩 城 駿	

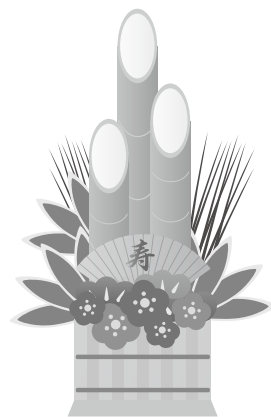
2021年の新春を迎えて

八峰町長 森田 新一郎



明けましておめでとうございます。
八峰町長3年目の新年を迎え、新型コロナウイルス感染症対策を始め、急速に進む人口減少や極端な高齢化・少子化という基本問題に立ち向かい、元氣な八峰町を実現しなければならぬという決意を新たにしています。
まさに昨年は、新型コロナウイルス感染症一色の一年でした。雄島花火大会や敬老式、んめものまつりなど行事やイベントの中止を始め、活動できなかつたことぶき大学生、楽しみな修学旅行の変更を余儀なくされた小中学生、お盆等と思うように帰省できなかつたふるさと会員や大学生など、多くの方々が残念な思いをしました。幸い八峰町では一人の感染者もなく、町民の皆様の実面目な取り組みの成果と感謝していますが、今後もマスク着用、三密回避などの対策を徹底し、一人の感染者も出さないよう全力で取り組んでまいります。

組んでまいります。
また稲作では、作況指数「105」のやや良でしたが、全国的にコメの需要量が年々減少している中で、新型コロナウイルス感染症により昨年度産米の在庫増加という懸念が加わりました。季節ハタハタ漁は、本当にヤキモキしましたが、12月16日ようやく待ち望んだ本隊が押し寄せ、いつもと変わらぬ活気ある八森地域になりました。
さて、まもなく令和3年度予算編成が始まります。引き続き、若者支援、子どもたちの育成、農林漁業の持続的な発展、健康寿命の延伸と元氣な高齢者や女性が活躍できる環境づくり、住み慣れたところで安心して誇りを持って暮らせる仕組みづくりなどに取り組んでまいります。
具体的には、子育て世帯の経済的負担の軽減や住宅新築・リフォーム支援、菌床シイタケ10億円産地の実現や将来的に危険になる空き家等の



除却支援、地域コミュニティ活動や避難所などの機能を備えた防災コミュニティセンタの建設、新たな地域公共交通システムの構築、親亡き後でも障がい者が安心して生活できる仕組みづくり、健康教室や介護予防教室の積極的な開催、道の駅「はちもり」のハタハタ館エリアへの移転などに取り組めます。
結びに、新型コロナウイルス感染症のワクチン等の開発が進みいつもと変わらない日常が戻りますとともに、皆様とご家族にとって健康で輝かしい一年になりますようご祈念申し上げます。